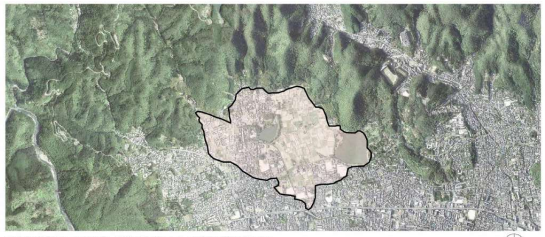
フリーツリー木漏れ日

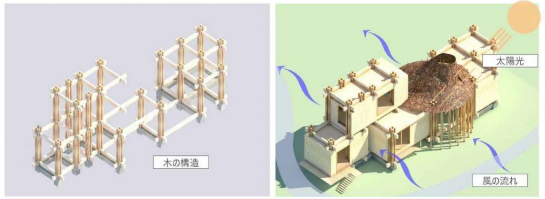
スペースコンセプト

家は、内部と外部の間の空間的制限を強調するよう作ってます。木の柱の間では、私達は外と内の間のポジションに位置し、家に守られていると同時に外側では自然の中にいる感じです。これは、「ハット」帽子形構造によって作成された中庭でより強く感じられます。家の中に自然を持ち込みたかったのです。

そのようにして、私は木とパティオに隣接して交差する縁側を設計しました。木がバリアのように外側にフィルターを作る事により、家の周囲の中にいながら外観を楽しめます。



エリアは京都の中央の百側、ここを選んだのは３つの特徴があるからです。
一つめは、多くのスペースがある、まだ沢山の建物がない。二つ目は２つの湖がある。３つ目は、自然の境界である山々がある事。



構造は檜の柱と梁でできています。モジュールが構造物の間にあるため、家の自然な風の循環が可能になります。

このコンセプトのため、建物は増殖と拡張の可能性を持つので、かつては一つの家族単位の家だったものが、今では多くの家族を収容する建物になりました。

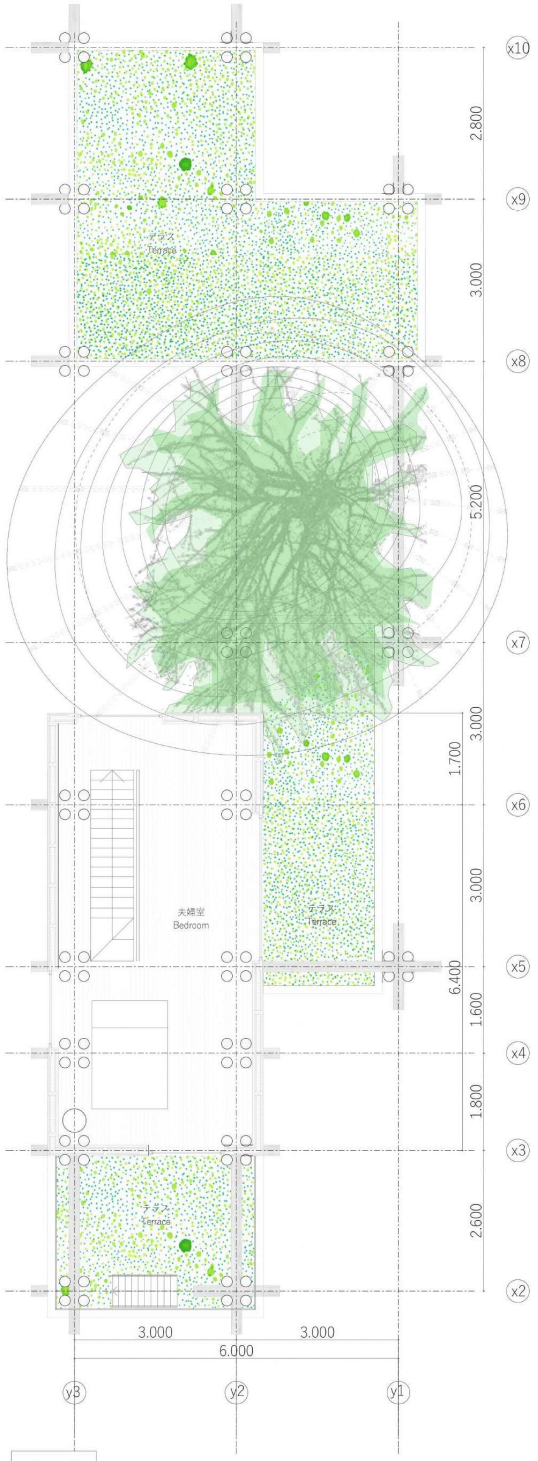
模型の画像

立面　1：200

インテリアパース

01

平面図　1階　1：50



02

平面図　2階　1：50

戦略

家は、空間的なボリュームをサポートする構造で、これらのボリュームは柔軟性があり、拡張する事ができます。この意味で、家は生き物の様なものであり、成長し、家族の必需品（必要性）に適応できます。

住宅モジュールは4x4メートル、より人間のスケールで、骨組みを取り込み、

構造自体は丸い輪郭の円柱と柱で構成されています。

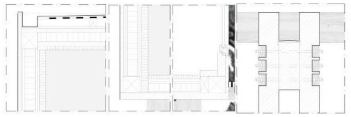
この家の提案は、予測不可能なリズムの感覚をもたらす一定のマトリックスと共に構造のアイデアを再現したいという願望です。

梁と柱は構造、一つのパターンであるだけでなく、建築のジェネレータでもあります。

家には沢山の異なる空間があり、外側と内側は繋がっている。

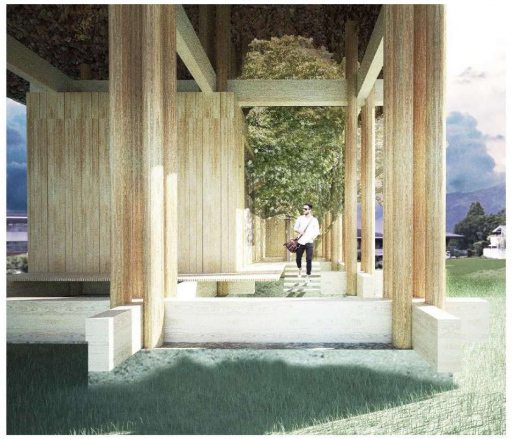
断面図　1：50

1-杉構造20x20cm
2-杉構造20x45cm
3-システムのプリテンション
4-保護ゴム層
5-コンクリート構造/基礎
6-木材のリッピング
7-黒いコルクの熱および防音の断熱材
8-火のカッターマット
9-水平木材リッピング
10-杉の梁12x12cm



ディテール　1：20

木の帽子のパース



外側パース